



# Road Side Station Yoshioka Hot Spring

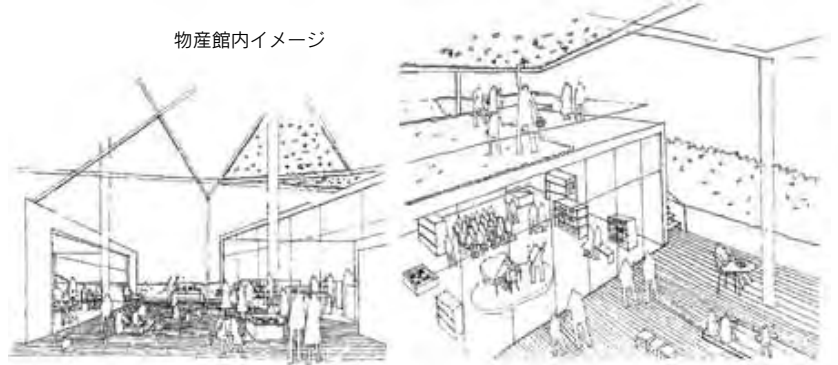


プロポーザルの様子



道の駅「よしおか温泉」施設整備設計プロポーザル(※)に係る公開プレゼンテーションおよびヒヤリングが10月18日午後1時から役場大会議室を会場に公開で開催され、町が指名した県内外7業者の中から株式会社プランツアソシエイツ(東京都)が道の駅「よしおか温泉」施設整備設計プ

物産館内イメージ



ロポーザル選考委員会(栗生明委員長)千葉大学大学院工学研究科教授、中井祐委員(東京大学大学院工学系研究科准教授、柴崎精久委員)道の駅「よしおか温泉」整備検討委員会委員長)の協議を経て最優秀に選ばれました。選考理由は、既存施設(ゴルフクラブハウス)やリポート

## 出合いの場「ステージ」と「ルーフ」

遊園地の隅に位置するこの道の駅は、地域住民はもちろん、近隣の住民や、サイクリングロードやハイパス利用の観光客がCross(交錯)する人と物との拠点といえます。

その拠点にふさわしいデザインとして、劇場の舞台のように「ステージ」と名付けた大きく連なるフロアを、ステージの上部には、例えばみんなが両降りができるような大きな傘をイメージした「ルーフ」を設けます。

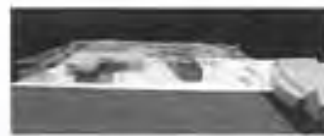
「ステージ」は人々の出合いの場所。「ルーフ」は一つの屋根の下で展開するドラマを共守る役割です。



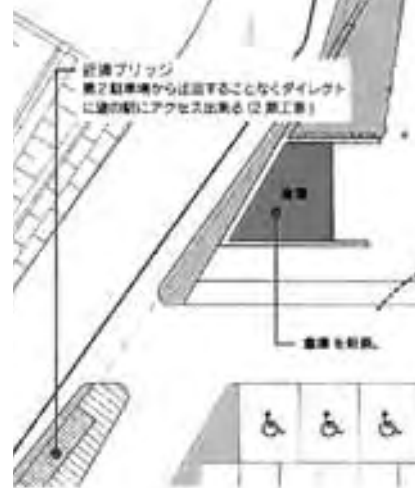
Phase.1  
クラブハウスから遊園地までを軸に長さ100Mのステージを設ける。



Phase.2  
既存建物等を参照し、ステージ中央に新たな建築を点在させる。



Phase.3  
ステージ全体を覆う「ルーフ」を掛け、ステージ上に点在する建物とその歩道に人々が行き交い、また留まるための「場」を生み出す。



ピア吉岡)の再活性化や将来の周辺整備計画に対する確度の高い提案であり、単なる道の駅の新設としてのみ捉えるのではなく、既存施設の改修や将来延伸される河川敷計画、天神東公園、エネルギーパークの整備までを「ひとつの大きな道の駅」のステージとして設定し、今回の建設を

それら長期にわたるプランの発端と捉えており、将来の整備を個々別々なものとせず、順次緊密に連携させながら、最終的には町民をひきつける「楽しい、小さな町」に発展させるという将来ビジョンが評価されたものです。

今後は年度内に設計をまとめ上げ、平成22年4月オープンに向けて、来年度から1期工事に取りかかる計画です。

また、道の駅「よしおか温泉」施設整備設計プロポーザルについては、町ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

※プロポーザルとは、発注者が複数の候補者に対象プロジェクトの設計業務に対する体制や実施方法、またプロジェクトに対する考え方や展開の方法などについての技術提案を求め、プレゼンテーションおよびヒヤリングにより設計者や設計組織(チーム)を選定することです。

## 問合せ先

役場産業建設課産業振興室

☎ 54・3111(内線168)

http://www.town.yoshioka.gunma.jp/

joka.gunma.jp/